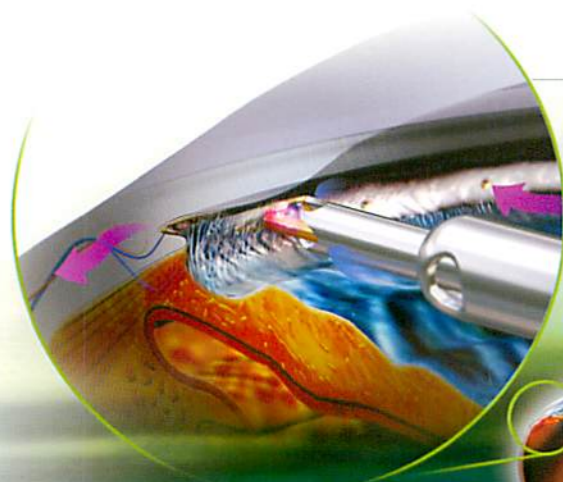


## 緑内障の低侵襲手術を実現！

### 房水の流出機能を回復

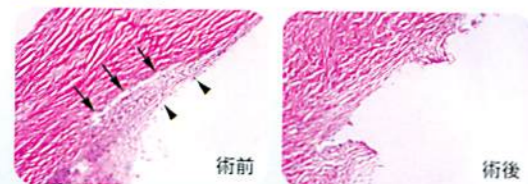
Trabectomeは、開放隅角緑内障に対する線維柱帯切開術のひとつで、電気メスにより線維柱帯の一部を切開・除去することにより、房水の流出路を再建する新しい眼科用電気手術器です。



### Trabectomeの特長

- ◆ 角膜切開からのアプローチなので低侵襲手術が可能
- ◆ 電気メスと I/A\* チップが合体した新発想のハンドピースを採用
- ◆ 結膜・強膜が温存できるので再手術を妨げません

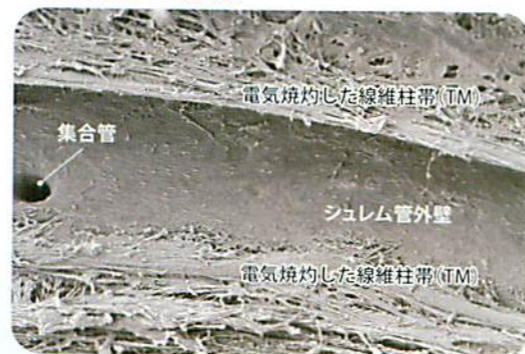
#### ■ 組織切片画像



▲ Trabectomeでの術前、術後の眼内ドレナージ組織の切片画像

\* 灌流/吸引

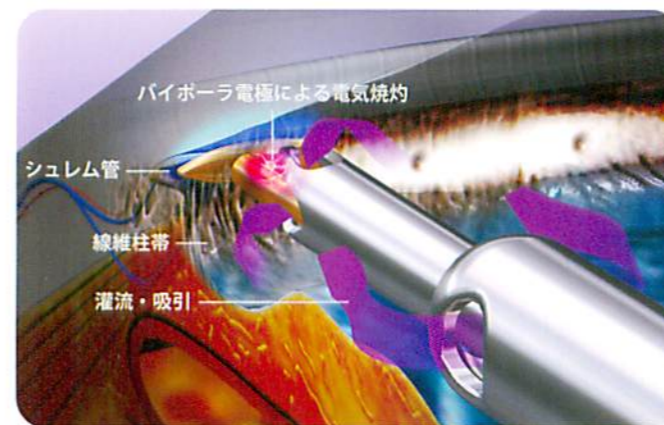
#### ■ 走査電顕 (SEM) 画像



▲ 眼の剖検における TM 除去の SEM 画像  
集合管とシュレム管外壁。処置していない小孔から上強膜静脈へ自由に房水が流れます。

Photo: Douglas Johnson, MD

### Trabectomeのシステム



#### ■ ハンドピース

- ◆ Trabectomeのハンドピースは、灌流・吸引機能とバイポーラ電極 (アクティブ電極とリターン電極) を組み込んだ、単回使用のディスポーザブルタイプです。
- ◆ 灌流・吸引・焼灼は、専用のフットスイッチによりコントロールできます。

#### ■ チップデザイン

- ◆ 先端部は、90° に屈曲したフットプレート構造を採用し、周辺組織を熱による損傷から保護します。
- ◆ 表面は多層膜ポリマーコーティングが施されているため、線維柱帯への挿入が容易で、シュレム管内を滑らかに進めることができます。
- ◆ アクティブ電極とリターン電極により線維柱帯の切開・除去を行うと同時に、切除組織の灌流・吸引を可能にします。



- a. ハンドピース
- b. 電源ケーブル、I/A チューブ
- c. I/A コンソール
- d. 高周波ジェネレーター
- e. 器具トレイ
- f. メインスタンド
- g. フットスイッチ

#### ■ 灌流・吸引・焼灼

- ◆ I/A コンソールは、スピード調節可能な蠕動ポンプによる吸引機能とピンチバルブによる灌流制御機能を備え、高周波ジェネレーターは、眼科用電気手術器の高周波パルスの発生機能を持ちます。
- ◆ 専用のフットスイッチにより、灌流・吸引・焼灼をコントロールできます。